

エゾカフェ店主敬白

VOL.3 2010/7/9

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、『エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる』ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

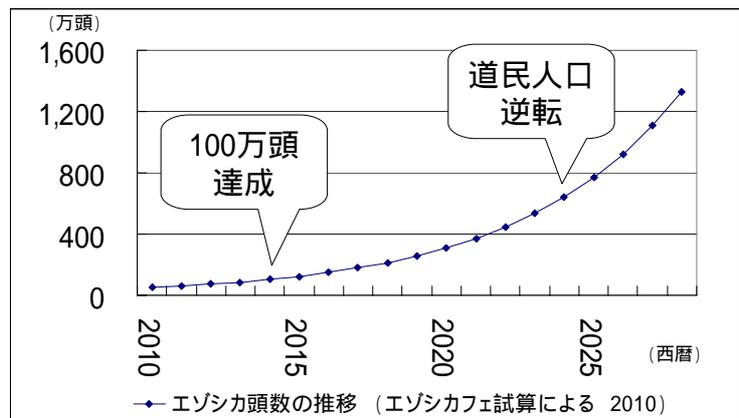
2040年エゾシカ1億頭？

エゾシカは貴重なタンパク源だ、エゾオオカミは人間さまの邪魔だ。ってなわけで、明治時代に狩猟をガンガン行い、エゾオオカミは絶滅、エゾシカも絶滅寸前まで減りました。

こらまずいってなわけで、保護を行い、約100年かけてエゾシカはその数を回復させました。しかしながら、一度絶滅してしまったエゾオオカミは復活しません。エゾシカたちは素敵な恋愛を行い、青春を謳歌しました。彼女たちに少子化なんて言葉はありません。

ほぼ毎年、妊娠し産み育て、平均で20%の勢いで増えるそうです。この計算式を当てはめると、2014年には100万頭、2027年には1000万頭、2040年には1億頭になります。

ちなみに、道民人口は550万人です。これは、2036年にエゾシカにあっさり逆転されます(ちなみに、シカゴは290万人)。エゾシカによる農業被害は30億円、また、高山賞物なんかも食べられてしまっています。2040年、もしかして1億頭まで増えたら、北海道はエゾシカしかないのでは？



食べるエコ

半分冗談、半分まじめな計算では、エゾシカをこれ以上増やさないためには、毎年10万頭エゾシカを獲る必要があります。でも、単純にやっつけるしかないわけではありません。そうです。美味しく食べるんです。

やっかいもののエゾシカですが、実際食べたら、激旨でしょ？ってなわけで、こいつらをみんなで美味しくいただきましょう。

せっかくの命を大事に食べることで、農林業被害や環境保全につながるなんて、これぞ、食べるエコです。

エゾシカカフェでは、なるべくたくさんのエゾシカ料理をお出しして、エゾシカを大好きになってもらうことが目的です。大好きになった後は、スーパーや他のレストランで肉を選ぶときに、『牛・豚・鶏、しかないの？エゾシカ食べたい』と、主張してください。みんなが『エゾシカ！！』と声をそろえれば、きっとエゾシカがおうちのテーブルに並ぶこともそんな遠い未来ではありません。

北海道がエゾシカで埋まる前に
私たちが出来ること

